



平成 30 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ゲオホールディングス  
本社住所 愛知県名古屋市中区富士見町 8 番 8 号  
代表者名 代表取締役社長 遠藤 結蔵  
(コード番号:2681 東証 第一部)  
問合せ先 経営企画部 梶田 義章  
ゼネラルマネージャー  
(TEL 052-350-5711)

### 通期連結業績予想の修正および特別損失の計上 ならびに次期業績予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想および次期業績予想について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。  
また、併せて特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

(1)平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	285,000	13,000	13,500	7,000	145.20
今回修正予想(B)	299,000	14,800	15,200	6,600	136.60
増減額 (B-A)	14,000	1,800	1,700	▲400	—
増減率 (%)	4.9	13.8	12.6	▲5.7	—
前期(平成 29 年 3 月期)実績	268,079	8,662	9,040	4,223	87.47

(2)修正の理由

連結業績につきまして、当第 3 四半期連結累計期間終了時点(平成 29 年 12 月 31 日時点)におきましても、冬季オリンピックや日本海側の豪雪による店舗への影響が不透明であったため、通期連結業績予想を据え置いておりましたが、昨年 3 月発売の任天堂スイッチをはじめとするコンシューマー向けゲームがハード・ソフトにおいて通期に渡り貢献し、加えて当第 4 四半期連結会計期間(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)におきましても、大型タイトルのゲームソフトが好調に推移し、当第 3 四半期連結累計期間の業績発表時点の見込みを上回る推移を見せたため、上記修正を行うこととします。

また、別記の特別損失の計上が見込まれるため、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回ることとなりました。

なお、平成 30 年 3 月期決算短信の発表は 5 月 10 日を予定しています。

## 2. 特別損失の計上

平成 30 年 3 月期第 4 四半期会計期間において減損損失を 1,340 百万円計上する見込みとなりました。これは主に店舗の固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、特別損失として計上する見込みです。

## 3. 次期業績予想

### (1) 次期業績予想開示の理由

本日開催の取締役会において、次期業績見通しが決議されましたので、社内と社外の情報格差を早期に解消するために開示いたします。

従前におきましては決算短信発表時に次期業績予想を公表しておりましたが、現時点で次期業績見通しがたち、インサイダー情報として長期保有することは好ましくないと判断いたしました。

今後もより適時な情報開示に努めてまいります。

### (2) 次期業績数値予想

平成 31 年 3 月期 通期連結業績予想(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
平成 31 年 3 月期 通期	百万円 290,000	百万円 8,600	百万円 9,100	百万円 4,600	円 銭 95.20

### (3) 次期見通しの定性情報

当社グループを取り巻く事業環境は、レンタル商材において依然縮小傾向が変わらない中、任天堂スイッチをはじめとするコンシューマー向けゲーム関連が全体を押し上げる状況が続きましたが、次期見通しにつきましてはゲームを中心とした新品の売上が一巡することにより減収となり、また長期的な成長を目指すべく、リユースへの投資を継続的に行うため減益と予想しております。

順調な拡大を進めております衣料服飾主軸のリユース系店舗の出店を継続すると同時に、E コマースへの投資を行い、中古ゲームや他のリユース商材にも注力するための物流を強化していくことで、お客様への利便性を高め、よりシームレスな環境を整備してまいります。

以上